

広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

1999.8.15

No.552



剣道を通じて健全育成

北 翔 館



7月11日、大郷、鷺巻、根岸、大通地区の子供たちが剣道で汗を流す「北翔館」が発足しました。現在、会員は子供25人、大人12人。毎週火・金曜日の午後7時30分から白根北中学校で練習をしています。

体育館には、ちびっ子剣士たちの「メイン」「ドオー」と打ち込む元気な声、竹刀のぶつかる音が響きわたる中、先生たちの熱い指導の音が飛び交います。「北部地区の子供たちが飛翔するように」と、「北翔館」という名称を付けました。剣道を通じて伸び伸びと育ってほしいですね」と代表の本間大次郎さんは話しています。子供たちは「竹刀でたたかれたときは痛いけど、一本取ったときは気持ちがいい」「いろんな所で開かれる大会に出場できて楽しい」と元気に話します。

「北翔館」では、現在会員を募集中。問い合わせは、大郷地域生活センター（☎280・2043）へ



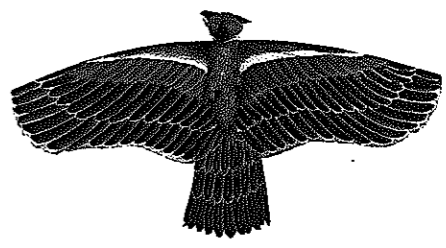
フクロウ凧 (ベトナム)

「ハノイで開かれる凧揚げ大会に参加してほしい」という大使館からの要請で、一九九三年十月、ベトナムを再訪しました。白根とベトナム凧の共演に、会場の小さな競技場は、ハノイの老若男女であふれました。ベトナムの子供も、白根の凧綱を引いて元気に走り、大喜びでした。終了後、ベトナムの古都フエに行き、ベトナム凧協会会員の作った凧を見せてもらいました。

チョウやワシ、ゾウなど、リアルに作られた見事な細工凧が、激しい雨中、市内の劇場に運ばれてきました。当時はまだベトナムには良質な凧紙がなく、セメント袋が用いられているようなお粗末なものでしたが、精密に作

あなたも凧博士

文・田村和雄
（しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長）



る器用さには感心させられました。かつては漢字も使われていて、中国の文化の影響を強く受けているベトナム。凧も同様です。翼を取り外したり、折り畳むことができ、中国の凧と構造的には全く同じです。

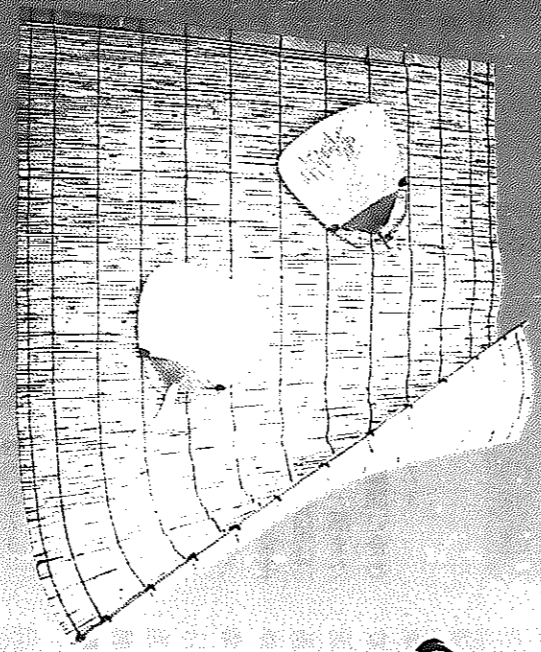
＝交通事故の発生件数＝

白根警察署管内	7月末現在
	※ () は前年同期
発生件数	191件 (156件)
死者数	1人 (8人)
負傷者数	255人 (181人)

編集ルーム ◎白根北中学校の柔道部が県大会で優勝し、全国大会へ出場するという朗報が入りました。もちろん次号で紹介します。◎それにしても今年は、卓球の白根アトム、白根ジュニアソフトテニスクラブ、白根高校少林寺拳法部など、全国大会出場のめじろ押しで、取材する私たちもうれしい悲鳴を上げています。◎選手の皆さん、もっともっと活躍して私たちに困らせてください。(ま)

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

白根市福祉サービスのご案内②
安心して暮らせる社会へ



市政クリップ
まちの話題
お知らせ
みんなのページ
サークル通信
あなたも凧博士